

第6回佐波川かわまちづくり協議会議事録

日 時 平成29年2月22日(水)14:00~16:00

場 所 市役所1号館3階南北会議室

《出席委員》

会 長	土 井 章
佐波地域自治会連合会会長	岡 村 康 彦
華城地域自治会連合会会長	原 田 義 久
右田地域自治会連合会会長	河 村 均
玉祖地区自治会連合会会長	内 田 元 夫
松崎地区青少年育成連絡協議会会長	河 杉 憲 二
佐波地域青少年育成連絡協議会会長	雪 村 和 史
右田地域青少年育成連絡協議会会長	伊 藤 賢 治
華城地区青少年育成連絡協議会会長	和 田 雅 夫
ホテルの夕べ実行委員会	中 司 達 美
佐波川に学ぶ会	吉 松 忠 直
水の自遊人しんすいせんたいアカザ隊	今 井 くに 子
防府土地改良区	屬 宣 義
佐波川漁業協同組合	清 水 玉 夫
防府市民	浅 井 典 子
防府市民	田 中 里 美
防府市民	田 村 栄 良
防府市民	藤 井 康 太 郎

《欠席委員》

防府市立右田中学校校長	岡 本 昭 彦
-------------	---------

市長 松 浦 正 人

土木都市建設部長 友 廣 和 幸

土木都市建設部次長 中 谷 純 一

土木都市建設部次長 伊 崎 知 行

事務局 河川港湾課

秋重課長補佐、浅井技術補佐、山久係長、
西崎主任、小川技師

協議会概要

(会長)

ありがとうございました。

いま事務局の方から資料 1 に基づきまして過去から現在の工事進捗状況そして国の事業の進め方について説明がありました。ご意見・質問等はありませんでしょうか。

A委員

本橋の欄干の腐食が進んでいるように思えるが、今回のかわまちづくり事業でどのように考えているのか。また、迫戸川の手すりがこげ茶色で計画されているが、なぜこの色になったのか。

(事務局)

本橋関係の欄干の修繕や整備について今回のかわまちづくり計画には含まれていない。本橋は市道であり、本市の道路課が管理している。橋梁については、橋梁長寿命修繕計画に基づき、老朽化が進んでいる橋を優先に点検・補修を進めている。本橋の欄干の腐食につきましても長寿命化修繕計画の中で検討していきたいと考える。

2 番目の迫戸川のフェンスの色のご質問について、今年度の工事で桜本児童公園の円筒分水工とその沈砂池周囲の転落防止柵の設置が終わっている。

今回のフェンスの色も児童遊園と合わせて統一していきたいと考えているため、同じ色を使用している。

B委員

本橋から新橋までの区間（左岸）に芝桜を植えるという計画であるが、少し離れた右岸側から見たほうがよいと考える場合、右岸側の道路は、歩道がないので危険であるためどう考えているか。

(事務局)

平成 28 年度から河川管理用通路を国の方が整備しており、平成 29 年度末に完成予定となっている。こちらを散歩コースとして利用していただければ対岸から芝桜を見ることができます。

B委員

平成 29 年度末ということは、来年末ですね。右岸側道路に安全面に配慮して車道よりも 30 c m ぐらい下げて、歩行者が通れる幅 50 c m ぐらいのスペースを設けることはできないか。

(事務局)

堤防の管理は国であり、道路は県道なので県管理になっている。堤防の上であるため、幅も規制されている。以前から県の方に確認しているが、歩道を設けることは難しいと考える。

C委員

2 点ほど伺います。

1 点目の多目的広場について親水空間もあり子供たちが川べりに下りてあそんだりできると思うが、キャンプ場の整備についてどの程度までおこなうのか。炊事場や水飲み場また東屋などの施設を整備するのか。

2 点目はポケットパークについて、非常にいいことだと思うが、場所的には私有地ではないか。また管理はだれがおこなうのか。

(事務局)

多目的広場について市民の方が気楽にキャンプサイトを利用できるという考え方で提案させていただいている。ただ、この区域は高水敷ということもあり、水道や電気などを設置する整備は難しく、あくまでスペースを提供するキャンプ場として考えている。

東屋についても高水敷であるため、折りたたみ式タイプするなどの条件から、今回の計画に含めていません。

ポケットパークについて、両方とも道路敷（公共用地）であるため、私有地ではありません。維持管理については、このかわまちづくり事業全体に関係することだと考えているが、委員のご意見にもあるように、管理の一部は地元の方にもお願いしていきたいと考えている。河川の高水敷や周辺の公園、ポケットパークなどさまざまな施設がある中で、市、国そして地元皆様のご協力、相互の協力により維持管理を進めていきたいと考えている。また、管理区分についても、今後地元や国と協議をおこないたいと考えている。その際には委員の皆様にもご協力をお願いしたい。

C委員

ありがとうございます。多目的広場ににしても、ポケットパークにしても自分はいいことだと考えますのでぜひお願いしたいと考える。

それと多目的広場について、絵コンテを見るとオートキャンプ場のような印象を受けるが、出来ればトイレの横などでもいいので炊事場や水飲み場を設けてはどうかと考える。そういう施設がないと家族で一晩テントを張っていかうかということにはならないのではないかと考える。家族でキャンプをしながらの場所の提供にもなろうかと考えられるので、考えていただきたい。

D委員

多目的広場について、この河川敷は普段は施錠により、立ち入りができないようになっている。我々が利用する際は、河川敷の使用届を提出して錠を開けて入るようになっているが、整備後は常時開放するのか。

それともう一点、私達が利用する際には自分達で草刈などをおこなっていたが、オートキャンプ場になったらどのような対策をいただけるのか。

トイレは、新設されるのでそれを利用できると思う。また、日中は福祉センターのトイレも使用できるのでいいことだと考える。以上2点伺います。

(事務局)

最初にお答えしますが、オートキャンプ場ではなく、書いてありますようにバーベキューなどもできる多目的広場ということで考えている。

施錠については、下流側に移して、大きな広場がある手前に通常車が出入りできないように施錠したいと考えております。

2つ目の維持管理につきましても、今後もできたら地元と市と国と協力し合って相互の協力のもとに維持管理を進めていくのがかわまちづくりの理想的な姿ではないかと考えている。

残念ながらそういう具体的な案を地元にお示しできていない状況であるため、できるだけ早い段階で基本的なスタンスというのを確立していきたいと考えている。

D委員 ありがとうございます。もう一点、清水川は葦が繁茂して足の踏み入れができない状況ですので、あわせて取除いていただきたいと考える。

委員長 事務局の方から「華城・玉祖地区への区域拡大」そして今後どういうことをやっていきたいかという説明がありましたが、ご質問・ご意見はありませんか。

A委員 夕方になると玉祖地区の方が、大崎橋なり佐波川橋なりこの間の道路、ぐるっと一周が散歩コースになっている。堤防に車が通行していないため、非常に安全であることから、散歩コースとして利用しているのが現状である。

玉祖地区の目的の1つに歴史と文化を守っていく地域づくりをしようという考え方があり、玉祖というと玉祖神社がまず頭に浮かぶということになりますので、玉祖神社もエリアに含めてその周回エリアの散歩コースに力を入れて整備していただきたい。

また、玉祖には玉祖神社以外のシンボルとして、二六台という丘がある。昭和15年に地区の広場・運動場として開拓され、昭和47年までは地区の運動会を毎年開催していた。運動会は玉祖小学校に移ったが、地区で一番使われている場所であり、元旦には、初日の出、ゴールデンウィークには、子ども会の方で鯉のぼりを毎年あげている。自治会でも春と秋の2回、道路の補修・清掃をおこなっている。小学校の運動会の際には二六台マラソンといひまして二六台の登山道を登って降りてくるという、使い方もしている。なお、道路が整備されているため、車で上がることができ、今回のかわまちづくりのエリア全てが上流から下流のポンポン山、瀬戸内海の一部まで見れるようなところでもある。土地の方は既に防府市に寄付をしており、駐車場の整備も済んでいる。二六台もエリアの一部に加えていただきたい。

それからもう1つ、彼岸の頃になると大崎橋から50m下流川表側に彼岸花が一斉に咲き誇ります。山口市にある名所に較べると花が少ない気がするので、ここに彼岸花を植栽して欲しいと考える。球根をいただけるのであれば、我々の方で植栽してもよいと考えているので、秋には彼岸花ということで皆さんに来ていただく場所にしたいと考えている。そのためには現在下の駐車場の周りがゴミ捨て場状態になっているので、定期的に我々の方で回収しないと最初はうまくいかないだろうと考えている。また、自治会長と役員で一周廻ってお願いするのであればどういったことがお願いできるのか、小学校子ども会関係、老人クラブの責任の方と話をしてどうしたら綺麗な状態を保てるのか。常日頃から清掃していかなければとも考えている。

二六台の方も年2回清掃しているが、もっと回数を増やさないといけないと考えている。高水敷の方に芝やグラウンドなどを整備して使えるようにと考えていたが、洪水の時には浸かってしまう。我々の方としては、そういうものを整備していただくというのも一つの方法かもしれないが、この管理が全て地元に戻ってくるということであれば、地元の人を動員してやらなければならないので、もし、グラウンドの整備ができないということであれば、駐車場の周辺の草刈は毎年国土交通省でやっていただいているので、駐車場については地区の方で協力ができるのではないかと考えている。

あともう一点、回遊するとなればトイレが必要になると考える。現状、二六台に市が簡易トイレを設置している。小学校の運動場にも昨年市が整備した水洗トイレがある。しかし、この神社周りに古いトイレがあるが、小さい

子供らは神社を見に来てもお昼を食べないで帰ってしまうというのが実情である。神社周辺にトイレを設置するのがルートの的にもよいのかと思う。

最後に周防一環自転車道という上流の方から多くの利用者が来られるいいルートがあるので、玉祖コースもあるという案内板を設置していただきたい。

(事務局)

いろいろなご意見・ご質問ありがとうございました。

まず、順番にお答えします。

区域エリアの件について、山陽道を中心とした周回コースということで玉祖神社・二六台を区域には入れていませんが、提案を受けましたので今後、これらの区域についても国とも協議していき検討していきたいと考える。

彼岸花について、以前からお話を伺っておりまして、国の方と協議しましたが、堤防敷に植栽は難しいのではないかと考えております。代替案も含めて今後、国と協議していきたいと思います。

高水敷のグラウンドについてですが、今回の計画を作成するにあたって、華城と玉祖の2地区の代表者らとどの程度までの整備ならば維持管理をお願いできるのか、またどの程度の整備を要望するのか伺いながら計画を進めてまいりました。維持管理につきましては、市や地元、国も含めて負担割合を決めていきたいと考えておりますので、互いに納得するいい方向で高水敷の整備は検討させて頂きたいと考えている。

自転車道の誘導看板については、これから基本計画、詳細計画を立てる段階でありますので、反映してまいりたいと考えます。

最後にトイレの問題については兩岸に1箇所ずつ整備して欲しいというご要望がありますが、現在場所の選定等で時間を要しており、検討中である。

今後も意見をお伺いしながら、調整を図っていきたいと考えている。

E委員

つつじ祭りの駐車場として高水敷をつかっているが、駐車場として確実に使えるような整備を行っていただきたい。

つつじは華城地区の300人位で刈っているが、毎年背が高くなっている。また、斜面の管理は難しいので、国土交通省にお願いしている現状である。去年は、作業が大変だったため2時間という区切りを設けて作業した。それでも完全に刈ることはできなかった。そこも国土交通省にお願いし、残りを実施していただいた。本当に助かっている。

それと佐波川の中にある立木の伐採はどの程度取除いてもらえるのか。この辺りは、祭りの時に子供たちが入るとぬかるんでいて足がはまってしまうので危ないと感じている。これらの木がたくさん生えているところはどのように整備してもらえるのか。

トイレについては、植松神社があるのでそこを候補地としてはどうかと考える。トイレだけは設置して欲しいと考える。

(事務局)

ありがとうございます。まず、駐車場の件ですが華城地区の方々と協議して、つつじ祭りをされている会場の部分と大崎橋のところまで整地してもらえれば面積的に足りるのではという意見を反映してこの区域を設定しております。今後国との協議も含めて計画していきたいと考えております。

いずれにしても整備後も草は生えてくると思いますので、地元の方にご協力をお願いすることになると考える。河道内の整備については現在国と協議

を進めているところではありますが、どのように進めていくか、もしくは子供が近づけないので今のままの方が危なくなっていくのかそういう考え方も出てくる可能性がありますので、もう一度地元の方々の要望を伺っていきたいと考えます。

トイレについては植松神社というご意見をいただいたので、今後検討していきたいと考えます。

E委員 イベントの際に子供たちが入るのが非常に危険なので、その周辺だけでも目が届くように木を抜いていただきたいと考える。それと空き缶やペットボトルなどの投棄が多い。子供たちの奉仕活動でゴミ袋で十数袋分あった。今後もう少しでも綺麗にしていきたいという気持ちがある。

F委員 パドルエリアの計画について、ここはカヌーをする人が使いやすいようにするためにはカヌーをする人の意見を聞いて造らないとよくならないと考える。その方々の意見は反映されているのか。また車の進入ルートや駐車場はあるのか。また、練習の場所だけなのか試合もできる場所なのか。

(事務局) 今回の提示した写真は、この計画場所で撮影したものです。
意見は、実際にカヌーをこの場所でおこなっている方々から伺っています。
まず1つは防府市の新田にあります養護学校の方が定期的にカヌーの練習をされています。また、カヌー教室を実施しているアウトドア用品店の代表から、ここは堰が近くにあり安定した広い面積が確保され、川の流れも緩いため、初心者の練習用として最適であり、上級者はここから新橋まで昇っていくベースとして使ったりもすると伺っている。
また、車の進入や駐車については、今回のかわまちづくり事業の中でカヌーの発着場兼親水護岸として整備することを計画している。